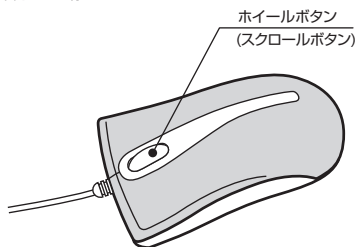
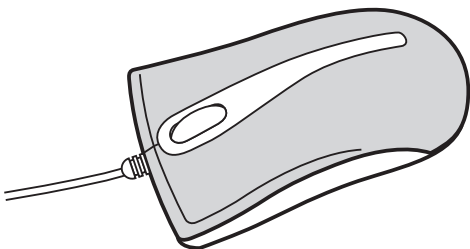


**オプティカルマウス取扱説明書**

Piccolo Dolce  
【ピッコロドルチェ】



**1.はじめに**

このたびは、オプティカルマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、ボールを使わないオプティカル方式(光学式)のマウスです。通常の使い方にプラスして、ひざの上などでも操作が行えるので、様々なシーンで威力を発揮します。ボールを使わないので、チリやホコリがたまってボールが動きにくくなることのないメンテナンスフリー構造になっています。本製品はマウスのホイールボタン(スクロールボタン)を回転、クリックさせるだけで、Windows上で簡単に画面スクロール等が行えます。またMicrosoft IntelliMouse機能に対応していますので、MS OfficeのようにIntelliMouse機能をもっているアプリケーションであれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、データズームなど)が行えます。

※ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

**2.警告**

**■テレビ/ラジオの受信障害について**

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
- テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
- テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
- 状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

**■注 意**

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

**3.健康に関する注意**

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じる場合があります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

**4.対応機種・対応OS**

**■対応機種**

- Windows搭載パソコン  
各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
- Apple Macシリーズ  
※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。

**■対応OS**

Windows Vista-XP-2000-Me-98SE-98及びMac OS X(10.2以降)  
※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押し下げによる動作はサポートしません。  
※機種により対応できないものもあります。  
※この文章中に表記される他すべての製品名などはそれぞれのメーカーの登録商標、商標です。

**5.接続する前に必ずお読みください**

**■本製品をUSBポートに接続する際の注意**

本製品はWindows等において自動認識され使用可能となります。もし、本製品が正常に動作しない場合、USBインターフェースが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「!」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。

また、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なる場合があります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

**■BIOS上でUSBがdisable(ディセーブル=無効)になっている場合**

- BIOS上のUSBをenableイネーブル(有効)にしてください。
- 通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが、詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- ドライバのダウンロード
- よくある質問(Q&A)
- 各種対応表 など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから ▼サポートコーナーへ

ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

- 1.はじめに
- 2.警告
- 3.健康に関する注意
- 4.対応機種・対応OS
- 5.接続する前に必ずお読みください
- 6.マウスの接続
- 7.本製品の使用方法
- 8.保証規定・保証書

最初に  
ご確認ください。

セット  
内容

- オプティカルマウス……………1台
- 取扱説明書……………1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

- 岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山 市 田 町 1 - 1 0 - 1  
☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
- 東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8  
☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
- 札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌  
☎011-611-3450 FAX.011-716-8990
- 仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 栄栄仙台ビル  
☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
- 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7 カジヤマビル1F  
☎052-453-2031 FAX.052-453-2033
- 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル  
☎06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
- 福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル  
☎092-471-6721 FAX.092-471-8078
- 金沢 / ☎076-222-8384

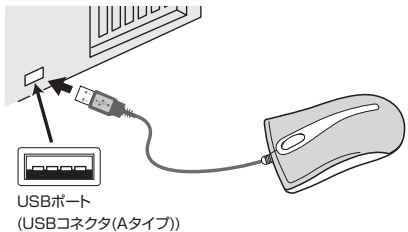
## 6. マウスの接続

※重要:  
マウスを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検知ソフトの常駐ファイル等)を終了させておくことをお勧めします。

本製品はUSBインターフェイスに対応したマウスですので、接続は次のように行います。

接続の際、コネクタには上下が異なりますので注意してください。

### ■ Windowsに接続する場合



- ①コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
- ②本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。
- ③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。インストール作業中は、マウスを動かさな

#### <Windows Vistaの場合>

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」[「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

#### <Windows XP・2000・Meの場合>

タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」[「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

#### <Windows 98SE・98の場合>

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。



- 新しいドライバを検索しています。  
USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ)



- 検索方法を選択してください。  
●使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨) ----- 次へ)



- 新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。  
チェックボックスにチェックマーク(☑)を入れないで ----- 次へ)  
もし検索場所を聞いてきたら  
☑ 検索場所の設定 (L)  
[C:¥WINDOWS¥INF] ※  
もしくは  
C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS  
※もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、☑ CD-ROMドライブ (C)にチェックを付けてください。



- 次のデバイス用のドライバファイルを検索します。  
USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ)



- USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 完了

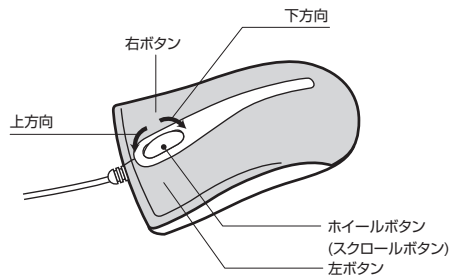
### ■ Macに接続する場合 (Mac OS X)

Mac OS X(10.3以降)は、標準でインストールされているSafari、Mail、Text EditおよびFinderなど、OS標準ドライバで、スクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。また、ホイールボタン押し下げによる動作はサポートしません。

- ①コンピュータの電源を入れ、Mac OS Xを完全に起動させます。
- ②本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。
- ③ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。

## 7. 本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。)機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。Microsoft IntelliMouse互換機能も持っていますので、MS-OFFICEのようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、ズームなど)が行えます。



#### ■ 左ボタン・右ボタン

左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きやポップアップメニューの表示をすることができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

#### ■ ホイール(スクロール)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

#### ■ ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。

このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

#### ■ ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS-OFFICEなどのアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

- 「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。
- 「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

## 8. 保証規定・保証書

- 1.保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。  
万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2.次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。  
(1)保証書をご提示いただけない場合。  
(2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。  
(3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。  
(4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。  
(5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3.お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4.本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5.本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 6.本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7.修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9.保証書は日本国内においてのみ有効です。

※保証書ラベルを貼付し大切に保管してください。

保証書ラベル貼付欄